

目次

- 1 事業の背景と目的
 - (1) 事業実施の趣旨及び内容
 - (2) 事業の実施期間
- 2 実行委員会の実施
 - (1) 目的
 - (2) 構成
 - (3) 開催結果
 - ① 第1回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会
 - ② 第2回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会
 - ③ 第3回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会
- 3 障害者スポーツの受け皿となる指導員の養成
- 4 スポーツを始める意欲を持つ障害者の掘り起こし
- 5 障害の有無にかかわらず、共にスポーツを楽しめる環境づくり
- 6 今年度事業の考察と今後の方針

1 事業の背景と目的

(1) 事業実施の趣旨及び内容

本市では、令和元年度に本事業の採択を受けて以降、「スポーツを通じた共生社会の実現に向け、障害者が健常者と同様にスポーツに親しめる状況を実現する」ために、以下の3点を事業方針としている。

- ①障害者スポーツの受け皿となる障害者スポーツ指導員の養成
- ②スポーツを始めたい潜在的な障害者の掘り起こし
- ③障害の有無にかかわらず、共にスポーツを楽しめる環境づくり

これらの方針に基づく具体的な取組を通じて、健常者の障害者に対する認識改善や障害者同士、または障害者と健常者のスポーツを通じた交流を促進し、将来的に、障害者が、健常者が行うスポーツの場に気軽に参加できる環境を整備するとともに、障害者施設関連や公共施設の指定管理者、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等様々な主体によって障害者も取り組むことが可能なスポーツコンテンツが提供される状況を目指している。

令和3年度は令和2年度までの取組を通じて確認した障害者がスポーツをしようとした際の阻害要因となるものを軽減し、参加者がスポーツに親しみやすい環境を作ることに取り組んだ。

更に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した教室の運営やリモートを利用した大会を開催した。

(2) 事業の実施期間

令和3年9月14日から令和4年3月30日

2 実行委員会の実施

(1) 目的

障害者スポーツの普及に向け和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会を設置し、委員会を3回実施。障害者スポーツ教室、スポーツイベント開催を効率的かつ効能的に実施するための意見交換や障害者と健常者が共にスポーツを楽しめる環境づくりのための検討を行った。

(2) 構成

構成	団体名 役職
スポーツ団体	和歌山市体育協会 副会長 和歌山市スポーツ推進委員連盟 会長 和歌山市文化スポーツ振興財団 事務局長
障害者スポーツ団体	和歌山県障害者協会 常任理事 和歌山県障害者スポーツ指導者協議会 会長
障害者団体	和歌山市身体障害者連盟 会長
行政関連	和歌山市障害者支援課 課長 和歌山市保健対策課 課長 和歌山市スポーツ振興課 課長

(3) 開催結果

① 第1回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会

開催日：令和3年7月30日（金）

場 所：和歌山市役所 14階 大会議室

内 容：今年度の障害者スポーツ推進事業の概要について
今後のスケジュールについて

主な意見

新型コロナウイルス感染症の影響による事業実施可否の判断の線引きが必要
リモート形式を利用した場合の視覚障害者への対応を検討してほしい

② 第2回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会

開催日：令和3年11月22日（月）

場 所：和歌山市役所14階 大会議室

内 容：令和3年度和歌山県スポーツ推進委員研究協議会の実技研修会の報告
令和3年度障害者スポーツ教室についての報告
あいおいニッセイ同和損保株式会社との連携事業について
オンラインスポーツ大会について

主な意見

指導者養成会は単発ではなく継続的に実施する必要がある。
市役所の大会議室で一般の方、市民の方対象に教室を実施したらどうか。
参加者が全員で教室前に散歩等を行うことで交流の機会を増やしたらどうか

③ 第3回和歌山市障害者スポーツ推進実行委員会

開催日：令和4年2月（書面評決）

方 法：書面決議

内 容：令和3年度事業報告について

主な意見

3 障害者スポーツの受け皿となる指導員の養成

(1) 県が実施する「初級障害者スポーツ指導員養成講習会」の資格者の増加を目的に広報活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(2) 和歌山県スポーツ推進委員研究協議会において、和歌山県内のスポーツ推進委員を対象に、障害者とのコミュニケーションスキルに関する研修会を開催し、スポーツ指導者の障害者スポーツに対する理解を深めた。

開催日：10月30日(土)13時15分～14時30分

場 所：和歌山東公園体育館

目 的：地域のスポーツ振興の推進及びコーディネーターとしての役割
を担う和歌山県内のスポーツ推進委員に対して、障害者スポーツ
指導者となるうえで必要となる障害者とのコミュニケーション
方法についての研修を行う。

内 容：相手を思いやるコミュニケーションスキル

参加者：和歌山県内のスポーツ推進委員 93名



講師：上田 頼飛 氏
ONELYS wakayama 球団代表
認定NPO法人one-s future 理事長
デフバスケットボール男子日本代表監督

4 スポーツを始める意欲を持つ障害者の掘り起こし

(1) 障害者の方々が身近で気軽にできるスポーツの普及を推進するため、障害者スポーツ教室を開催した。参加者の利用しやすい時間帯を探るため、開催場所を固定し、開催時間を平日の昼、夜、休日の午前中とバリエーションを持たせて3種目全6回実施した。

今年度のねらい

- ・ 平日の昼・夜、休日の午前中に開催時間を分け、参加しやすい時間帯を探る
- ・ 障害の有無にかかわらず参加できる

日程	種目 (定員 各種目10名)	合計参加者
11月30日(火)13:30~15:30	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ	12人
12月14日(火)13:30~15:30	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ	10人
11月30日(火)17:30~19:30	パタンク・バスケットピンポン	6人
12月14日(火)17:30~19:30	パタンク・バスケットピンポン	4人
11月 7日(日) 9:30~11:30	パタンク・バスケットピンポン	9人
12月11日(土) 9:30~11:30	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ	23人

◎指導員 市パタンク協会、市グラウンド・ゴルフ協会、日本バスケットピンポン株式会社
市スポーツ推進委員

◎委託先 市文化スポーツ振興財団 (教室運営業務)

◎参加者募集チラシ

障害のある方もない方も一緒に楽しみましょう!

和歌山市障害者スポーツ教室

開催期間 令和3年11月・12月
開催場所 和歌山東公園 体育館・市民球場

和歌山市でスポーツ教室を開催します!

普段スポーツをされている方もそうでない方も、スポーツを楽しみませんか。

平日の昼・夜、休日の午前中と時間帯を分けた教室をご用意しています。初めてのの方も大歓迎!

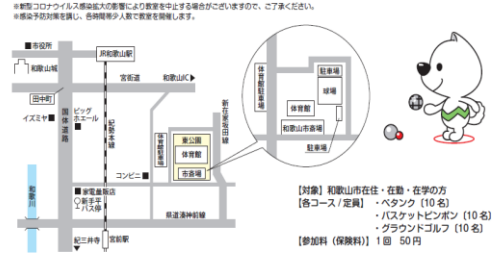
申込期間
10/8(金)~22(金) 必着
郵送、FAXにてお申し込み下さい

申込問合せ 〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
和歌山市役所スポーツ振興課
TEL:073-435-1364 FAX:073-435-1358

スポーツ庁委託事業

各教室のスケジュール

日程	コース	開催時間	種目
11月30日(火) 12月14日(火)	平日・昼	13:30~15:30	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフから選択
11月30日(火) 12月14日(火)	平日・夜	17:30~19:30	パタンク・バスケットピンポンから選択
11月 7日(日)	休日・午前中	9:30~11:30	パタンク・バスケットピンポンから選択
12月11日(土)	休日・午前中	9:30~11:30	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフから選択



障害者スポーツ教室・申込用紙
FAX : 073-435-1358

ふりがな	氏名			申込日	年 月 日
住所	〒				
生年月日	年	月	日	(年齢 歳)	
電話番号	() ※日中連絡の取れる電話番号をご記入下さい				
選択コース	平日/昼コース	平日/夜コース	休日/午前中コース	※複数コース参加可	
選択種目	パタンク バスケットピンポン グラウンドゴルフ (※平日昼コース及び11月7日(日)は実施しません)				
車椅子使用(有・無)	手話通訳(要・否)	要約筆記(要・否)	介助者(有・無)		

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により教室を中止する場合がございますので、ご了承ください

◎広報先

障害者個人	県主催の障害者スポーツ事業に参加実績のある方138人
障害者団体	和歌山市身体障害者連盟、居宅介護施設134カ所、生活介護施設37カ所、療養介護施設1カ所、短期入所施設24カ所、自立訓練施設12カ所、就労移行支援施設5カ所、就労継続支援施設（A型19カ所、B型64カ所）、障害者支援施設7カ所、計画相談支援施設36カ所、就労定着支援施設2カ所、自立生活援助施設3カ所、共同生活援助施設38カ所、児童通所支援施設48カ所、一般相談支援施設12カ所、地域活動支援センター事業所（I型2カ所、II型4カ所）、市内特別支援学校6校、地域活動支援センター6カ所、市内体育施設6カ所

(2) 社会福祉法人つわぶき会の施設において、オンラインスポーツ大会を開催した。移動手段の確保が難しい参加者のためのアウトリーチ事業であり、感染症拡大防止対策のため ZOOM で施設間をつなぎ、種目を競い合った。

日 時：令和3年12月13日（月）10：00～12：00

場 所：つわぶき会 綜成苑及び綜愛苑

再委託先：J:COM（司会・機器接続）

玉入れ



ボッチャ（ターゲットマット）



5 障害の有無に関わらず、共にスポーツを楽しめる環境づくり

健常者にも障害者スポーツについての関心と理解をもってもらうために、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携して、東京パラリンピック車いすバスケットボール銀メダリストである秋田啓選手をお招きし、和歌山市立中之島小学校体育館にてパラスポーツ体験授業を開催した。

日 程：令和3年12月7日（火）

場 所：和歌山市立中之島小学校

講 師：秋田 啓

参加者：和歌山市立中之島小学校

5年生（50名）及び6年生（38名）

協 力：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

和歌山県障害者スポーツ協会

プログラム

2時間目 講演会（5年生・6年生）

3時間目 車いすバスケットボール・ボッチャ体験会（5年生）

4時間目 車いすバスケットボール・ボッチャ体験会（6年生）



車いすバスケットボール
銀メダリスト 秋田 啓選手

6 今年度事業の考察と今後の方針

（1）考察

昨年度は新型コロナウイルスの影響により実施できなかった事業があったため、今年度はコロナ禍においても実施できるようオンラインを取り入れたスポーツ大会をおこなった。これはスポーツ振興課・障害者支援課の両課ともに初めての試みであったので、大会の運営や進行は業務委託したものの、器材のセッティングに時間がかかったことや、音声が乱れる場面もあったことが課題としてあげられる。また、委託先業者や補助役の職員も会場に赴いたため、会場の施設には外部者が複数人入る結果となり、施設側から感染症拡大防止の観点から外部者の人数を減らしてほしいとの意見があった。そのほか、施設内やオンラインでも競いやすい種目や、点数の優劣をわかりやすく表現する方法、参加者に喜んでもらう工夫など今後の課題として検討していく必要がある。課題と改善点が見えた一方で、オンラインを利用することで障害者スポーツを普及する新たな手段の可能性が感じられた。当初の目的である「移動手段の確保が難しい方にスポーツに親しむ機会を提供する」ということを念頭において、今後もオンラインを視野に入れたアウトリーチ事業を検討していきたい。

また、障害者スポーツの指導員の養成について研修をおこなったことで、和歌山市での障害者スポーツへの取組を県内のスポーツ推進委員に知ってもらえたのではないかと考える。こちらが今年度の新規事業であり、まず参加者には障害者とのコミュニケーションスキルを中心に学んでもらった。障害者スポーツ指導員の養成につなげるには今後も継続して研修を実施する必要があると考えており、また、スポーツ推進委員だけでなくより多くの人に障害者スポーツ指導員について周知する方法を検討する必要性を感じた。

中之島小学校においてパラスポーツ体験授業を開催した結果、パラリンピックの開催の影響もあり、障害者スポーツについての関心が高まっているように感じた。この関心が一時のものとならないよう、今後も企業と連携してより多くの参加者にパラスポーツに親しむきっかけを作る必要があると感じた。

令和4年度の障害者スポーツ推進プロジェクトに和歌山市は残念ながら選定されなかったが、これまで3度の選定をいただいたことを受けて、これからも障害者スポーツの推進・振興を目指していきたい。